

げ すい どう やく わり

下水道の役割

vol.1

つか あと みず

《使った後の水をキレイにする》

お風呂やトイレ、台所などで使った後の水は下水道管を通して下水処理場におく送られ、キレイになった後で川や海に流れます。また、取り除いたゴミや汚れは、セメントや堆肥などにリサイクルして役立てています。



げ すい どう かん つか あと みず とお かん

下水道管（使った後の水が通る管）

げ すい しょ り じょう

下水処理場で
水をキレイに
するよ！

つか あと みず げ すい どう かん とお

使った後の水は下水道管を通して
下水処理場へ送られるんだ！

げ すい しょ り じょう

下水処理場

ゴミや汚れは
セメントの原料や堆肥に

メタンガスは建物の
冷暖房などに

つか あと みず かわ なか

使った後の水をそのまま川などに流すと
においの原因になったり、害虫が発生し
たりするんだ。

げ すい どう よご みず

下水道は汚れた水をキレイにして、
川や海を守っているんだね。

かわ うみ

川や海

げ すい どう や く わ り

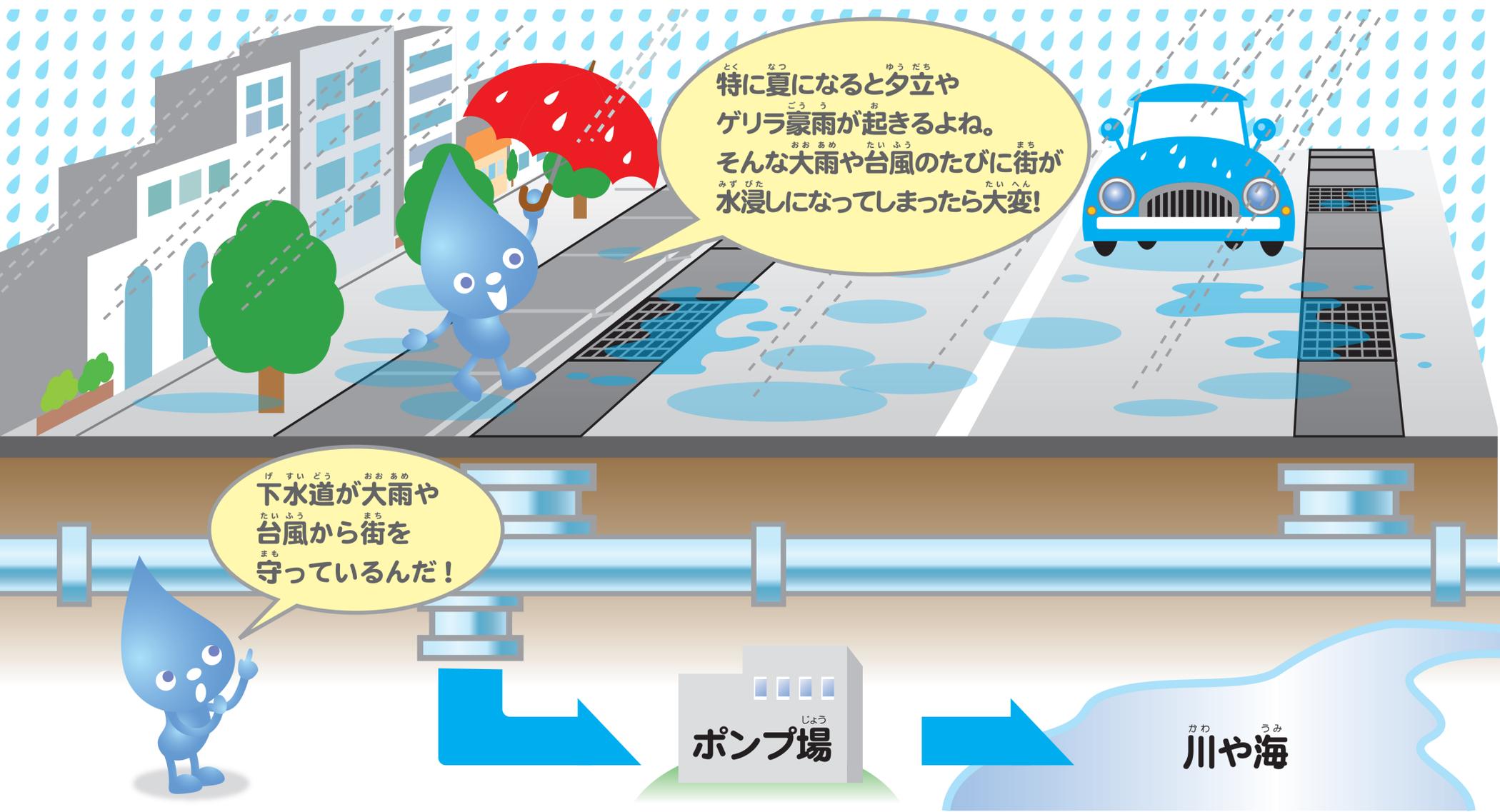
下水道の役割

vol.2

おお あめ まち まも

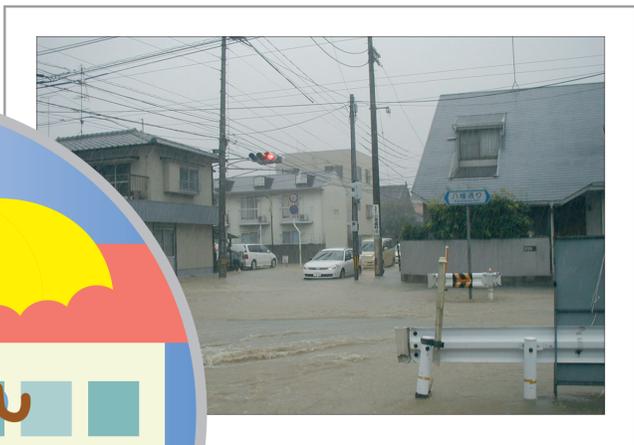
《大雨から街を守る》

まち ちゅうしん ぶ じ めん おお おお
街の中心部は、地面がアスファルトやコンクリートで覆われているところが多
く、降った雨が地中にしみこむ場所がほとんどありません。下水道は雨水を
あつ かわ うみ なが まち みず びた
集めて川や海に流すことで、街が水浸しにならないようにします。



へい せい ねん たか まつ し

平成16年には高松市でも…



へい せい ねん たいふう 23 号 では、たかまつし ゆか
平成16年の台風23号では、高松市でも床
の上まで水浸しになった建物は3,810戸、
床の下が水浸しになった建物は11,751戸
と、大きな被害を出しました。今では、雨水
を流す大きな下水道管を作って、街を大雨か
ら守っています。

